

| | | | | | | | | | | | |
|--|---|-----|----|----------|----|----|-----------|-----|----|----|---|
| 2021年度 日本工学院専門学校 | | | | | | | | | | | |
| I Tスペシャリスト科／モバイルアプリ専攻 | | | | | | | | | | | |
| Webアプリケーション開発 | | | | | | | | | | | |
| 対象 | 2 年次 | 開講期 | 前期 | 区分 | 必修 | 種別 | 実習 | 時間数 | 60 | 単位 | 2 |
| 担当教員 | 勝島貴之 | | | 実務 経験 | 有 | 職種 | システムエンジニア | | | | |
| 授業概要 | | | | | | | | | | | |
| 現在、当たり前のように使用するインターネット上で動作するWebアプリケーションの作成方法を習得することが目的となる。Webアプリケーションとは、クライアント側のWebブラウザのプログラムとサーバ側のプログラムが互いに情報のやり取りをしながら、動作するものを指す。代表的なものとして、「電子掲示板」や「ブログ」、「ネット販売システム」などがある。「Web開発基礎」でクライアント側であるWebブラウザ上で実行されるHTMLやCSSを学んでいるので、今回はWebサーバ上で動作するPHPについて学ぶ。また大量のデータを扱う可能性があるため、データベースとの連携方法も習得する。 | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | | | | | | | | | | | |
| この授業ではPHPを学び、クライアントから送信されてくる情報をサーバ上で処理・管理できる仕組みを理解することが目標となる。PHPの基本文法から学び、HTML、JavaScriptとの連携と連携した処理が作れるようになること、データベースとの接続・情報のやり取り方法を学び、複数のユーザから送信されてきた情報の管理や、大量のデータから必要な情報を取り出し、HTMLとして出力することができるようになること。セッション管理を理解し、複数のページで情報を共有できる仕組みを理解できるようになること。 | | | | | | | | | | | |
| 授業方法 | | | | | | | | | | | |
| WebサーバとしてApache、データベースとしてはMySQLを使用し、サーバ側で動作するプログラムの作成方法を習得する。教科書を中心に基本文法から学び、簡単なWebアプリケーションを作成しながらクライアントとの連携方法や、データベースとの連携方法を理解していく。 | | | | | | | | | | | |
| 成績評価方法 | | | | | | | | | | | |
| 試験・課題 30％ 試験の点数によって評価をする 小テスト 50％ 課題の提出、内容によって評価する レポート 0％ 成果発表 0％ 平常点 20％ 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する | | | | | | | | | | | |
| 履修上の注意 | | | | | | | | | | | |
| 教科書、ノートパソコンを持参すること。基本的には教科書の順番で進めるため、公欠などで欠席した場合は、進んだ部分について確認しておくこと。また公欠をする場合は事前に公欠届を提出すること。全授業時間の4分の3以上の出席がない場合は、定期試験を受験することはできない。 | | | | | | | | | | | |
| 教科書教材 | | | | | | | | | | | |
| 3 0 時間アカデミックPHP入門 | | | | | | | | | | | |
| 回数 | 授業計画 | | | | | | | | | | |
| 第1回 | HTML、CSS、JavaScriptの復習 HTML、CSS、JavaScriptが記述できる | | | | | | | | | | |
| 第2回 | Webアプリケーションと開発環境 Webアプリケーションを理解し、開発環境を設定できる | | | | | | | | | | |
| 第3回 | PHPの初歩(1) PHPの基本文法が理解できる | | | | | | | | | | |
| 第4回 | PHPの初歩(2) 配列や連想配列を使用したプログラムが作成できる | | | | | | | | | | |
| 第5回 | PHPの初歩(3) HTMLを含めた出力とフォームを使用したデータ送信ができる | | | | | | | | | | |
| 第6回 | データベースの利用(1) データベースサーバを起動し、データベースと連携したプログラムを作成できる | | | | | | | | | | |

| 2021年度 日本工学院専門学校 | |
|------------------------|---|
| I T スペシャリスト科／モバイルアプリ専攻 | |
| Webアプリケーション開発 | |
| 第7回 | データベースの利用(2) プログラムからSQLを実行し、レコードが抽出・追加・削除・更新ができる |
| 第8回 | 課題作成(1) DBを使用した簡単なプログラムの作成を行い、完成できる |
| 第9回 | 課題作成(2) DBを使用した簡単なプログラムの作成を行い、完成させる |
| 第10回 | オンライン予約システムの作成(1) 目的を持ったWebアプリケーションの作成ができる(クライアントサイド) |
| 第11回 | オンライン予約システムの作成(2) 目的を持ったWebアプリケーションの作成ができる(クライアントサイド) |
| 第12回 | オンライン予約システムの作成(3) 目的を持ったWebアプリケーションの作成ができる(サーバサイド) |
| 第13回 | オンライン予約システムの作成(4) 目的を持ったWebアプリケーションの作成ができる(サーバサイド) |
| 第14回 | オンライン予約システムの作成(5) ページごとの必要な処理が実装できる。入力チェックができる |
| 第15回 | オンライン予約システムの作成(6) セッション管理を理解できる |

| | | | | | | | | | | | |
|--|---|-----|----|----------|----|----|-----------|-----|----|----|---|
| 2021年度 日本工学院専門学校 | | | | | | | | | | | |
| I Tスペシャリスト科／システム専攻 | | | | | | | | | | | |
| Webアプリケーション開発 | | | | | | | | | | | |
| 対象 | 2 年次 | 開講期 | 前期 | 区分 | 必修 | 種別 | 実習 | 時間数 | 60 | 単位 | 2 |
| 担当教員 | 勝島貴之 | | | 実務 経験 | 有 | 職種 | システムエンジニア | | | | |
| 授業概要 | | | | | | | | | | | |
| 現在、当たり前のように使用するインターネット上で動作するWebアプリケーションの作成方法を習得することが目的となる。Webアプリケーションとは、クライアント側のWebブラウザのプログラムとサーバ側のプログラムが互いに情報のやり取りをしながら、動作するものを指す。代表的なものとして、「電子掲示板」や「ブログ」、「ネット販売システム」などがある。「Web開発基礎」でクライアント側であるWebブラウザ上で実行されるHTMLやCSSを学んでいるので、今回はWebサーバ上で動作するPHPについて学ぶ。また大量のデータを扱う可能性があるため、データベースとの連携方法も習得する。 | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | | | | | | | | | | | |
| この授業ではPHPを学び、クライアントから送信されてくる情報をサーバ上で処理・管理できる仕組みを理解することが目標となる。PHPの基本文法から学び、HTML、JavaScriptとの連携と連携した処理が作れるようになること、データベースとの接続・情報のやり取り方法を学び、複数のユーザから送信されてきた情報の管理や、大量のデータから必要な情報を取り出し、HTMLとして出力することができるようになること。セッション管理を理解し、複数のページで情報を共有できる仕組みを理解できるようになること。 | | | | | | | | | | | |
| 授業方法 | | | | | | | | | | | |
| WebサーバとしてApache、データベースとしてはMySQLを使用し、サーバ側で動作するプログラムの作成方法を習得する。教科書を中心に基本文法から学び、簡単なWebアプリケーションを作成しながらクライアントとの連携方法や、データベースとの連携方法を理解していく。 | | | | | | | | | | | |
| 成績評価方法 | | | | | | | | | | | |
| 試験・課題 30％ 試験の点数によって評価をする 小テスト 50％ 課題の提出、内容によって評価する レポート 0％ 成果発表 0％ 平常点 20％ 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する | | | | | | | | | | | |
| 履修上の注意 | | | | | | | | | | | |
| 教科書、ノートパソコンを持参すること。基本的には教科書の順番で進めるため、公欠などで欠席した場合は、進んだ部分について確認しておくこと。また公欠をする場合は事前に公欠届を提出すること。全授業時間の4分の3以上の出席がない場合は、定期試験を受験することはできない。 | | | | | | | | | | | |
| 教科書教材 | | | | | | | | | | | |
| 3 0 時間アカデミックPHP入門 | | | | | | | | | | | |
| 回数 | 授業計画 | | | | | | | | | | |
| 第1回 | HTML、CSS、JavaScriptの復習 HTML、CSS、JavaScriptが記述できる | | | | | | | | | | |
| 第2回 | Webアプリケーションと開発環境 Webアプリケーションを理解し、開発環境を設定できる | | | | | | | | | | |
| 第3回 | PHPの初歩(1) PHPの基本文法が理解できる | | | | | | | | | | |
| 第4回 | PHPの初歩(2) 配列や連想配列を使用したプログラムが作成できる | | | | | | | | | | |
| 第5回 | PHPの初歩(3) HTMLを含めた出力とフォームを使用したデータ送信ができる | | | | | | | | | | |
| 第6回 | データベースの利用(1) データベースサーバを起動し、データベースと連携したプログラムを作成できる | | | | | | | | | | |

| 2021年度 日本工学院専門学校 | |
|---------------------|---|
| I T スペシャリスト科／システム専攻 | |
| Webアプリケーション開発 | |
| 第7回 | データベースの利用(2) プログラムからSQLを実行し、レコードが抽出・追加・削除・更新ができる |
| 第8回 | 課題作成(1) DBを使用した簡単なプログラムの作成を行い、完成できる |
| 第9回 | 課題作成(2) DBを使用した簡単なプログラムの作成を行い、完成させる |
| 第10回 | オンライン予約システムの作成(1) 目的を持ったWebアプリケーションの作成ができる(クライアントサイド) |
| 第11回 | オンライン予約システムの作成(2) 目的を持ったWebアプリケーションの作成ができる(クライアントサイド) |
| 第12回 | オンライン予約システムの作成(3) 目的を持ったWebアプリケーションの作成ができる(サーバサイド) |
| 第13回 | オンライン予約システムの作成(4) 目的を持ったWebアプリケーションの作成ができる(サーバサイド) |
| 第14回 | オンライン予約システムの作成(5) ページごとの必要な処理が実装できる。入力チェックができる |
| 第15回 | オンライン予約システムの作成(6) セッション管理を理解できる |